

合格までの学習スケジュール

<p>学習期間、講座別講義配信及びテキスト送付開始日</p>	
<p>学習期間：2～3か月</p> <p>〈配信及び送付開始日〉 通関実務対策講座 貨物分類編：10/30 知識獲得講座 PART1（関税法）：12/4 知識獲得講座（関税定率法等、通関業法、通関実務）：1/29 過去問攻略講座：2/26</p>	<p style="text-align: center;">基礎力養成段階</p> <p>知識獲得講座はPART 1（関税法）から順に学習してください。特に、PART 1の関税法は、通関士試験の学習において基礎となるべき知識を学習することになりますので、手を抜かずある程度時間をかけて学習してください。知識獲得講座の各章が終了したら、既に配信等が開始されていたら、当該章に対応する過去問攻略講座で演習問題を解いてください。これにより、知識が定着しているか、本試験でどのような問題が出題されるかがわかります。通関実務科目の一分野である、貨物の分類の学習も始めてください。この分野は、暗記がものをいいますので、この時期から少しずつ覚えていってください。家で腰を据えて学習するというよりも移動時間など空いた時間で少しずつ覚えていくと無理なく学習することができます。</p>
<p>学習期間：3～4か月</p> <p>〈配信及び送付開始日〉 実践力 Power Up 講座 申告書編：3/19 通関実務対策講座 計算編：5/7 通関実務対策講座 申告書編：5/7 実践力 POWER UP 講座 計算編：5/21</p>	<p style="text-align: center;">実力養成段階</p> <p>より細かく深い知識を習得します。過去問攻略講座の演習問題を繰り返し解いてください。わからなかった箇所は、基本テキストや収録講義を見て確認してください。その際には解けるかどうかではなく、なぜ間違いなのかといったことへの理解に努めてください。1科目目（通関業法）、2科目目（関税法等）は、この繰り返しで8割程度正解できることを目標にしてください。また、通関士試験で合否を分ける通関実務に特化した講座の配信が始まりましたら、そちらの方の学習も始めてください。徐々に通関実務科目の割合を増やしていきましょう。</p>
<p>学習期間：1～2か月</p> <p>〈配信及び送付開始日〉 公開模試（自宅受験）：8/13 （会場受験）：9/7 直前総まとめ講座：7/30</p>	<p style="text-align: center;">完成段階</p> <p>通関実務科目に重点を置いた学習にしてください。公開模試で実力を把握してください。結果に一喜一憂するのではなく、自身の弱点克服に役立ててください。この時期からでも実力は伸びます。直前総まとめで、知識の整理をします。直前総まとめは、1科目目（通関業法）と2科目目（関税法等）が中心の講座です。通関実務科目に関しては貨物の分類の学習が含まれます。この時期、最後まであきらめないことが何より肝要です。</p>